発行　社会福祉法人　一宮市社会福祉協議会
福祉のまちづくり

2006
10月号
No.5

いちのみやの社会福祉

平成18年度一宮市障害者スポーツ大会「大玉リレー」の様子です。
皆さん元気に楽しく参加されました。　7月1日（土）　　於　木曽川体育館

もくじ

・平成17年度事業報告……2
・　〃　決算報告……3
・平成18年度会費加入状況、善意の寄付金… 4
・赤い羽根共同募金にご協力を……5
・おもちゃ図書館、心配ごと相談……　6
・講座のご案内……7
・第18回福祉とボランティア活動展……　8・9
・催しもののご案内……10
・ヘルパーだより……11
・ボランティア体験学習……12・13
・編集ボランティアのページ……14・15
・売店のご案内……16

平成17年度主な事業報告

ふれあいのまちづくり推進事業

○市民総参加を基盤とした支会組織の充実強化並びに地域福祉事業を推進しました。

ボランティアセンター活動事業

○地域住民の社会奉仕に関する理解と関心を深め、ボランティア活動の育成援助と必要な連絡・調整を密にし、社会福祉の増進を図るため、ボランティアセンター事業を推進しました。

・登録者数　本部　192グループ（8,737名）　個人 131名
　尾西支部　34グループ（　609名）　個人 136名
　木曽川支部　31グループ（　573名）　個人　60名

・市民啓発事業として、「福祉フェスティバルびさい」「みんなと一緒に“福祉とボランティア活動展”」を開催しました。延べ3日で9,200名参加。

共同募金配分金事業

○老人福祉活動事業　100才以上の高齢者へ長寿祝いを贈り敬老の日等行事に協力し、助成をしました。
○障害児・者福祉活動事業　各障害児・者団体の行事等に協力し、助成をしました。
○児童・青少年福祉活動事業　福祉実践教室の開催、児童・青少年福祉活動に協力し、助成をしました。
○母子・父子福祉活動事業　母子育成事業等に協力し、助成をしました。
○福祉育成・援助活動事業　低所得者階層への援助及び広報紙を発行し市民福祉啓発をしました。
○ボランティア活動育成事業　ボランティアの地区活動推進及び登録ボランティアグループに助成をしました。
○歳末たすけあい配分金事業　ひとり暮らし老人へ慰問を行い激励しました。

居宅介護等事業

○訪問介護員が介護保険法及び支援費制度に基づく、居宅介護サービス提供事業及び一宮市からの受託事業等の介護等事業を実施しました。

・サービス提供回数

	本部	尾西支部	木曽川支部
指定訪問介護事業（介護保険事業）	49,993回	18,808回	17,044回
指定居宅介護事業（支援費事業）	10,603回	944回	1,907回
難病・精神障害者ホームヘルパー派遣等事業	2,702回	339回	419回
軽度生活支援事業	8,458回	576回	543回
生活弱者生活支援事業	―	―	186回

（延べ回数）

居宅介護支援事業

○介護支援専門員が介護保険法に基づく適正な居宅介護支援を行いました。

	本部	尾西支部	木曽川支部
介護認定調査	360件	215件	137件
ケアプラン作成	4,189件	2,257件	1,577件

（延べ件数）

地域福祉サービス利用援助事業

○自らの判断で適切な福祉サービスを受けることが困難な認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等が地域で自立した生活が送れるように福祉サービスの利用援助を行いました。

地域福祉サービスセンター事業

○在宅の要援護者及びその家族等を対象に、福祉に関する相談に応じ、適切な福祉サービスが提供されるよう総合的な連絡・調整を行い援助しました。

基金運営事業

○基金の趣意啓蒙を行い基金の造成に努め、その利息及び寄付金にて、歳末慰問援護事業を実施しました。

平成17年度一宮市社会福祉協議会一般会計決算報告

一宮市社会福祉協議会では、去る5月30日（火）に理事会・評議員会を開催し、平成17年度事業報告及び決算について認定、承認を受けました。

地域福祉の推進と在宅福祉サービスの充実を基本方針として実施することができました。ここに市民の皆様、関係各位のご協力を厚くお礼申し上げるとともに、決算報告をいたします。

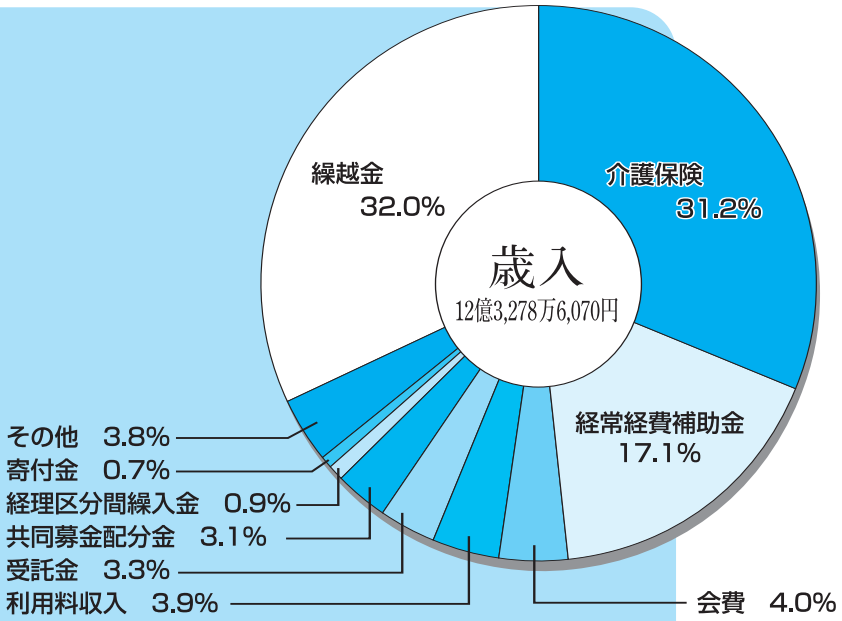
なお、詳細につきましては本部事務所で閲覧できます。

歳入決算額　1,232,786,070円

歳　入

（単位：円）

介護保険	384,127,765
経常経費補助金	211,226,594
会費	49,096,045
利用料収入	48,681,530
受託金	40,810,778
共同募金配分金	38,330,936
経理区分間繰入金	11,663,260
寄付金	8,429,126
その他	46,347,648
繰越金	394,072,388
合計	1,232,786,070

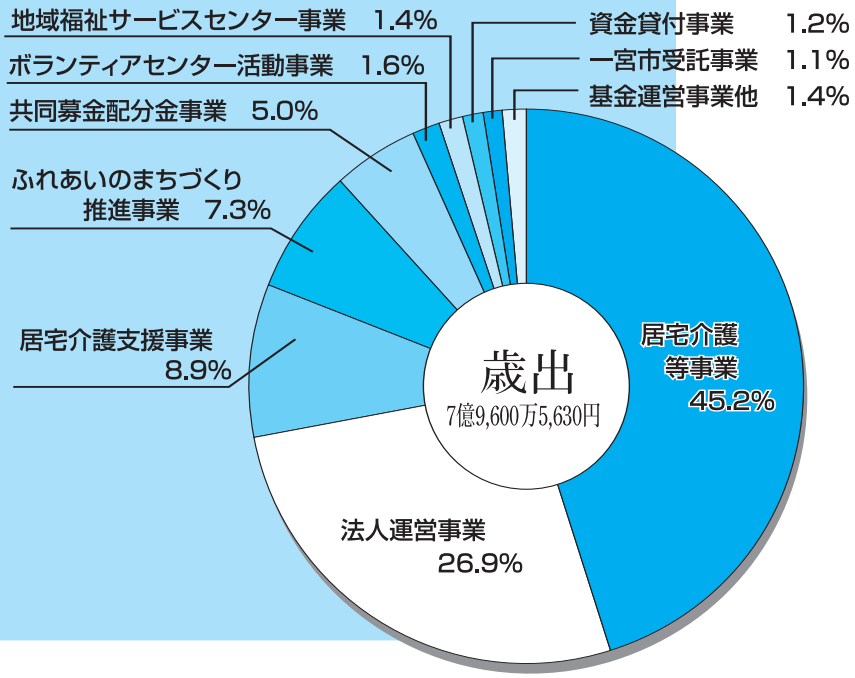


歳出決算額　796,005,630円

歳　出

（単位：円）

居宅介護等事業	360,121,761
法人運営事業	214,393,315
居宅介護支援事業	70,613,844
ふれあいのまちづくり推進事業	57,874,533
共同募金配分金事業	39,995,383
ボランティアセンター活動事業	12,593,344
地域福祉サービスセンター事業	10,804,801
資金貸付事業	9,945,049
一宮市受託事業	8,479,208
基金運営事業他	11,184,392
合計	796,005,630



平成18年度一宮市社会福祉協議会会員加入状況

（平成18年7月31日現在）

社会福祉協議会会員にご加入いただきありがとうございます

今年度も社会福祉協議会への会員加入をお願いしましたところ、市民の皆様方に多数のご理解とご協力を得ることができました。ご加入くださった方々、また加入促進にご協力いただいた方々に心からお礼申し上げます。市民の皆様方から頂いた会費は、高齢者・障害者・子育て・母子父子・地域福祉など社会福祉事業推進のために活用させていただいております。

なお会員加入につきましては、平成19年3月31日まで受付けておりますので、未加入の方におかれましては、社会福祉協議会の諸事業にご理解いただき、ご加入くださいますようお願いいたします。

本　部

賛助会員：300円以上　特別会員：1,000円以上

支会名	会員数	金　額（円）
宮　西	2,525	1,577,600
貴　船	3,455	1,432,200
神　山	3,486	1,821,570
大　志	1,949	1,281,000
向　山	2,504	1,450,500
富　士	4,026	1,449,360
葉　栗	4,527	2,263,500
西　成	10,466	4,075,830
丹　陽	8,111	4,008,500
浅　井	6,234	2,493,600
北　方	3,025	1,512,500
大　和	12,622	4,198,350
今伊勢	7,284	3,270,600
奥	3,842	1,921,000
萩　原	5,433	2,173,200
千　秋	5,302	2,226,840

合計　37,156,150円

尾西支部

普通会員：500円以上　賛助会員：5,000円以上　法人等特別会員：10,000円以上

支会名	会員数	金　額（円）
起	889	456,500
小信中島	2,719	1,362,000
三　条	3,195	1,706,000
大　徳	2,890	1,450,500
朝　日	3,778	1,904,500
開　明	2,228	1,150,000

合計　8,029,500円

木曽川支部

普通会員：500円以上　賛助会員：1,000円以上　法人会員：3,000円以上

会員内訳	会員数	金　額（円）
普通会員	3,308	1,654,000
賛助会員	122	122,000
法人会員	66	198,000

合計　1,974,000円

善意のご寄付ありがとうございました

平成18年4月1日～7月31日

（敬称略　順不同）

奥グラウンドゴルフクラブ	エス・ビー建材（有）（４回）
杉 山 清 一	今伊勢町吉田グラウンドゴルフクラブ
昭和14年３月(第30回）中島小学校卒業生クラス会	尾西市立第三中学校　昭和５０年３月卒業生一同
尾西球遊クラブ（２回）	（有）建築工房（２回）
木曽川町傷痍軍人会	一 丸 安 貴
開明小学校１、２年生	愛知西農業協同組合
（株）ダイセーエクスプレスシステム	匿名　１２件

合計　3,662,150円

赤い羽根共同募金にご協力を

平成18年度一宮市共同募金委員会目標額

49,971,000円

一宮地区目標額

34,000,000円

尾西地区目標額

11,971,000円

木曽川地区目標額

4,000,000円

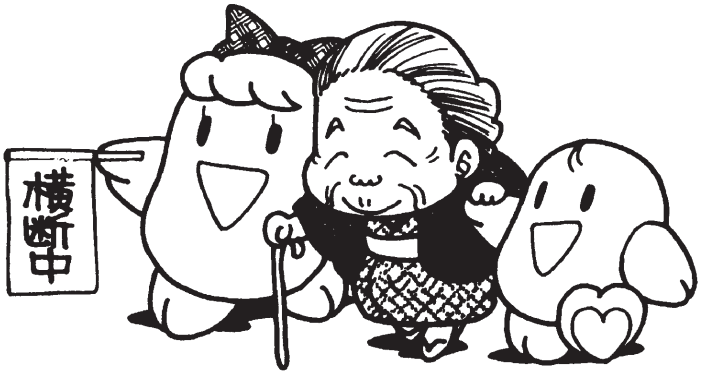
皆様からお寄せいただく寄付金は地域のさまざまな福祉活動やボランティア活動の支援のために役立てられています。

10月1日(日)・8日(日)にJR尾張一宮駅前・名鉄一宮駅前・ショッピングセンター等で街頭募金活動を実施します。

地域の福祉、
みんなで参加

赤い羽根共同募金

10月1日 ▶ 12月31日
一宮市共同募金委員会



今年も皆様のご協力をお願いします。

©中央共同募金会

おもちゃ図書館へ遊びに来てね！

子どもは遊びの中から多くのことを学びます。そして「おもちゃ」は遊びを豊かにする道具です。子どもにおもちゃをたくさん用意して、気に入ったおもちゃを選んで遊ぶ機会を提供するところが「おもちゃ図書館」です。子どもは、おもちゃの素晴らしさや遊びの楽しさを経験することにより、さまざまな可能性をひきだします。

保護者の方にとっても、情報を交換したり、友人をつくったりと、心を開き肩の力をぬいて語りあえる場でもあります。

館内は子どもが大好きなボランティアの皆さんによって運営されており、温かく迎えてもらえますよ。

ぜひ、親子で遊びに来てくださいね。

おもちゃ図書館は、2館ありますので気軽にご利用ください。

利用できる方　小学校入学前のすべての子ども（保護者同伴）　**利用料**　無料

おもちゃの城

開館日時　毎週火・水・金曜日
毎月第2･第4土曜日(障害児対象)
いずれも午前10時～午後2時
場　　所　一宮市浅井町前野字西藪34
（ふれあいセンターめぐみ内）
問 合 せ　TEL52－0801

なかよし

開館日時　毎週月・木・金曜日
毎月第1･第3土曜日(障害児対象)
いずれも午前10時～午後2時
場　　所　一宮市丹陽町重吉字北屋敷380
（ふれあいセンターなごみ内）
問 合 せ　TEL76－1260

＊祝祭日および年末年始は休館です。

＊ おもちゃ図書館では、運営ボランティアを募集しています。
詳細は本部（TEL24－2940）又は、各おもちゃ図書館へお尋ねください。

悩みごと・困りごとは 心配ごと相談所へ

無料

社会が複雑になり多様化すればするほど、暮らしの中にも解決策がみつからない様々の問題が身近に発生するようになりました。

一宮市社会福祉協議会では、こうした問題を抱えている人たちに対し、適切な助言などによって解決の糸口が見つかればと「心配ごと相談所」を開設しています。

心配ごとをもつ人なら誰でも、どんな問題でも相談に応じています。相談内容等についてはすべて秘密ですのでお気軽にお出かけください。

	日　　時	会　　場
心配ごと相談	毎週火・金曜日　午後1時～4時 （第1･第3火曜日除く）	思いやり会館　3階　TEL72－5052
	毎週水曜日　午後1時～3時 （祝祭日の場合は翌日）	尾西庁舎　東館4階　TEL63－4800
	毎週水曜日 午後1時～3時	高齢者生きがいセンター　TEL87－2000
法律相談	毎月第1･第3火曜日　午後1時～4時 （祝祭日の場合は翌週） ※事前に予約必要　**TEL73－4363**	思いやり会館　3階　TEL72－5052
	毎月第2･第4水曜日　午後1時～4時 （祝祭日の場合は翌日） ※事前に予約必要　**TEL61－5511**	尾西庁舎　東館4階　TEL63－4800 （尾西支部）

家族介護者
リフレッシュ事業に参加しませんか？

日頃の介護から少しの間はなれ、同じ介護をしてみえる方同士がこの事業を通じて交流し、悩みごとなどを話し合ったり情報を交換しながら、のんびりと気分転換をして明日からの活力を養っていただきたいと思います。

対象者

①市内在住の方
②「介護保険法」において「要支援1･2･要介護1～5」と認定された方を在宅で介護されている方

参加費 500円

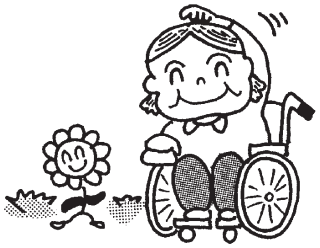
日時・内容など

月　日	時　　間	内　　容	場　　所
11月1日（水）	午前９時３０分～ 11時30分	福祉制度・ヘルパー活動 健康体操・フラダンス等	尾西支部 （尾西庁舎東館4階会議室）
11月10日（金）	午前９時～午後５時	日帰りバスツアー	牧歌の里

※両日とも参加できる方

定　員：30名（先着順）
申込み：10月10日（火）午前9時から尾西支部（TEL63－4800）

車いすガイドヘルプボランティア
養成講座受講者募集



車いすガイドヘルプとは、肢体に障害を持つ人の外出や食事などの日常生活をお手伝いすることです。みなさんもお手伝いをしてみませんか？

と　き：１０月２７日（金）午前１０時～午後３時
ところ：尾西支部（尾西庁舎東館４階）
対　象：市内在住・在勤の方
定　員：２０名（先着順）
受講料：１，０００円（当日集めます）
申込み：１０月２日（月）から尾西支部（TEL63-4800）

全国ボランティア
フェスティバルあいち･なごや
平成19年に愛知県で開催

○開催日　平成19年9月22日（土）
23日（日）

名古屋市をメイン会場とし、一宮市でも西尾張地区会場として交流会・分科会を開催します。

一緒に
活動展

入場無料

主な催し物

1階

★共同募金啓発ポスター・書道展
・共同募金ポスター書道入賞者表彰式（14日㈯ 14:00～）

★模擬店
・カレーライス・おでんなどの販売（15日㈰　10:30～14:00）
・みたらしの販売（14日㈯　13:00～15:30 15日㈰　10:30～14:00）

★ふれあい餅つき大会
（15日㈰　14:30～）

★盲導犬PRコーナー
（15日㈰　10:00～13:00）

★おもちゃ図書館コーナー
おもちゃで楽しく遊びましょう。

★福祉機器展
介護用品等の展示と実演

★骨粗しょう症検査
（15日㈰　10:00～）
成人女性　先着400名

★ボランティアグループ活動発表会
（15日㈰　10:30～）

1階及び2階

★福祉施設・福祉団体活動紹介展

★健康・福祉コーナー
・老人介護等の相談（14日㈯・15日㈰）
・健康・精神保健・障害者等の相談（15日㈰のみ）

2階

★ふれあいバザー
・障害者のみなさんが作った製品・ボランティアの方々が持ち寄った手芸品や不要品の即売会

2階及び3階

★体験コーナー
・手話・点訳・朗読
高齢者擬似・障害者パソコンを体験しましょう。

3階

★ボランティアグループ活動紹介展

★民生委員バザー
（15日㈰のみ）

4階

★児童福祉施設・団体活動紹介展

★福祉推進校活動紹介展

★ぬり絵受付

★風船つり、輪投げコーナー

★ビンゴゲーム大会
（14日㈯　15:30～ 15日㈰　11:30～14:00）
※1回50名まで1人1回限り

第18回 みんなと福祉とボランティ

とき：
10月14日(土)13:00～16:00
15日(日)10:00～15:30

ところ：一宮スポーツ文化センター
(一宮市真清田1-2-30)

先着入場者500人
(両日とも)
粗品進呈!!

ロケット福祉号

クイズラリーにちょうせん!
会場内の10カ所でクイズに答えてね!参加者全員にジュースを
プレゼント♥

ふれあいの輪を広げよう!!

催しものご案内

「福祉のつどい」

と　き：11月12日（日）
　　午前10時～午後2時
ところ：尾西商工会館、駐車場
　　一宮市小信中島字川南36
主　催：一宮市尾西ボランティア連絡会
内　容：・ボランティア展示
　　・体験コーナー
　　・模擬店コーナー
　　・ボランティアグループによる演芸

「福祉フォーラム」

障がい児(者)が住み慣れた地域で豊かな生活を送るために、支えていただけるよき理解者・協力者を増やすことを目的に開催します。
と　き：10月21日（土）午後２時～午後４時
ところ：尾西生涯学習センター大ホール
　　（市役所尾西庁舎東館６階）
主　催：一宮東養護学校親の会・
　　一宮東養護学校
内　容：「障がい児(者)を
　　地域でどう支えていくか」
　　～これからの自立支援のあり方とは～
　　講師　福)プロップステーション理事長
　　竹中ナミ氏
対象者：関心のある方ならどなたでも
参　加：当日、直接会場へお越しください

「きそがわボランティアフェスティバル2006」

～コムネックスみづほ文化祭と同時開催～

と　き：11月3日（祝・金）
　　午前10時～午後3時
ところ：一宮市高齢者生きがいセンター
　　一宮市木曽川町黒田字西沼５１
主　催：一宮市木曽川ボランティア連絡協議会
　　（11団体）
内　容：各ボランティアグループの活動体験や高齢者擬似体験・特設ステージにて和太鼓・マジック・フラメンコ・大正琴ミニ公演開催、手作り品バザー、きそがわ作業所バザーコーナー・アートバルーン先着200名プレゼント　など

かしの木フェスティバル

～つなごう　てとて　ひろげよう　みんなのわ～

と　き：11月5日（日）
　　午前10時～午後2時
ところ：冨田山ひろば
　　（尾西グリーンプラザ北）
主　催：樫の木福祉会、かしの木の会
内　容：・各種団体等のステージ
　　・抽選会　・模擬店　・バザー
　　・フリーマーケット

第17回「コスモス祭り」

と　き：11月26日（日）
　　午前10時～午後2時30分
ところ：彦田公園（花池4丁目）
主　催：社会福祉法人　コスモス福祉会
　　第17回　コスモス祭り実行委員会
内　容：・授産施設製品の販売
　　・模擬店
　　・リサイクルバザー
　　・ステージ企画
　　・ゲーム企画　　など
　　※ボランティアも募集中です。
問合せ：コスモス福祉会　八木
　　TEL73-0748

一宮市市民活動大交流会

と　き：11月5日（日）
　　午前10時30分～午後4時30分
ところ：一宮地場産業
　　ファッションデザインセンター
　　１階展示ホール
主　催：一宮市ボランティアグループリーダーの会
内　容：・市民活動発表
　　・市民活動団体フリートークタイム
　　・市民活動紹介コーナー
　　・市民活動交流コーナー
　　・相談コーナー
問合せ：一宮市ボランティアグループリーダーの会
　　TEL　24-6616

ヘルパーだより

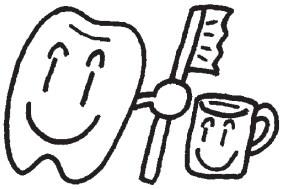
食欲の秋の到来です！　私たちヘルパーもお腹のまわり等いろいろな所が成長期に入ってきました。でも食べ物をおいしく頂けるっていうのは幸福なことですね。今回は食欲の秋という事で“食”をテーマにいろいろなエピソード等をご紹介します。

こんなときどうする

Q.　寝たきりで要介護５のＳさん。意思の疎通はできません。ヘルパーさんからは「嚥下障害もなくよく食べられますよ。」という報告を受けています。熱もなく顔色良好です。お母さんの好物を作ってみましたがあまり食べてくれません。どうしよう～?

A.　さあ、娘さんからのSOS、よくよく聞いてみるとギャジベッドを４０度位にして介助しているそうじゃ。上体を起しても背中がベッドについたままでは体の感覚は寝ている状態と同じなんじゃ。背中とベッドの間を少しあけ、背中にクッションをあてていると口から食べ物が通りやすくなるんじゃよ。姿勢を整えて介助してみてくれたまえ。きっと食道に食べ物が通りやすくなるぞ。

平成18年４月より介護保険制度では、介護予防の考えが導入され、口腔機能の向上や栄養改善等がうたわれています。私たちヘルパーは食や食卓をめぐる表現から利用者の心情や体調を読み取ることも必要です。利用者の方がお元気で在宅生活を継続していただくためにも口腔ケアは大切です。高齢になると、自分の歯が少なくなったり、だ液の分泌が減って食べにくくなったり、ものを飲み込む力が衰えたりします。それらが原因で栄養が十分にとれなくなったり肺炎になったりすることもまれではありません。口腔ケアとは歯や口内の清掃をはじめ、食べる、話すといった口腔の機能を維持、向上させるために大切です。



歯みがき。義歯の手入れ以外にも次のような口腔ケアがありますよ。

◎　舌の清掃

歯ブラシや専用のブラシで舌の表面についた汚れを落とし細菌の繁殖・口臭の予防にも効果的です。

◎　ガーゼみがき

歯ブラシが使えない時は、ガーゼを指や割り箸などに巻き付けて口の中をぬぐうだけでも効果的です。

さあ、みんなで舌の体操をして飲み込む力を保ちましょう!

これからも私たちホームヘルパーは利用者の生活の質を向上し、安全に安心して在宅生活が継続できるよう自立の支援に努めていきます。そして「ヘルパーさんに来てもらうようになって生活にはりができた。楽しみにしている。」といわれるよう今日も頑張っています!

ひと夏の思い出…

この夏、市内の中学生・高校生211名が14ヶ所の福祉施設での
「ボランティア福祉体験学習事業」に参加しました。
連日の猛暑の中、汗びっしょりになっての作業の手伝いや、
お年寄りや障害者とのふれあいを通じて、
新たな発見、感動が生まれました。

出会いふれあい ボランティア体験!!

於　きそがわ作業所

於　ウエルコートみづほ

於　サンリバー

於　おもちゃ図書館

於　いずみ第2作業所

「私のボランティア体験」

西成東部中学校　3年
真野有梨

わたしは、中一の時ボランティア体験で、居宅介護支援センターのウェルコートみづほに行きました。わたしがお手伝いしたことは皿洗いや、お年寄りの方と話をすることでした。初めて行くところだったので、緊張して何も話せずにいました。でも勇気を出して話しかける事ができ、それからの時間は、肩の力がぬけていろいろな話ができました。

そして昨年は、身体障害者通所授産施設のかすみ草へ行きました。かすみ草は体が不自由なため、働くことが困難な方が通って、必要な訓練を受けながら、職業を得て自活をめざす所で、前回とは違った所でした。かすみ草の中には十代から高齢者の方まで、いろいろな障害を持った方がたくさんいました。

わたしは最初何をすればよいのかわからなくて、緊張しましたが、スタッフの方にいろいろなアドバイスをいただきたいへん勉強になりました。わたしがやった仕事は、糸をまきつける棒を使用できるものと、きずがついて使用できないものとで分ける作業でした。私にとってとても単純な仕事でしたが、そこで働いている方たちは、とてもいっしょうけんめいでわたしもがんばってお手伝いしようと思いました。仕事場のふんいきはとても明るくてみなさんすごくいきいきしていました。

このように、わたしは、ボランティア体験を通して、いろいろな人に出会い、元気とやさしさをもらい、たくさんの事を学ぶことができました。そして、わたしがボランティア活動をする上で大切だと思ったことは、自分からすすんで行動するということです。だれかに強制されたり、義務付けられて行うものではないと思います。学校の行事として参加したり、友達から誘われたり、テレビや広告で見かけたなど、どんな小さなきっかけでも、「自分自身のやってみよう」という気持ちからボランティア活動が始まると思います。

今年は、身体障害者療護施設あすかに行きます。今までの体験をいかして、少しでも力になれるように自分にできることを、精一杯がんばりたいです。

「あすか」で外出支援のボランティアをしました。
写真奥左　於　デンパーク

編集ボランティアのページ

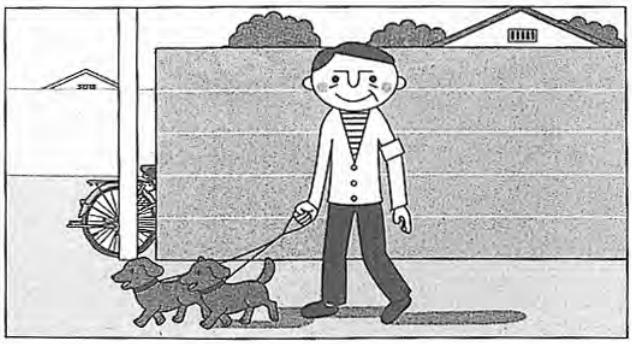
みんなイキイキ！私たちのボランティア活動をご紹介します。

・今号でご紹介するのは身近な地域で活躍する「パトロール」関係のボランティアです。
地域の防犯や防災を目的により安心、安全な地域づくりを目指して活動されます。

野口2防犯パトロール

代 表 者／伊藤正則
連 絡 先／TEL45－6382
会　　員／10名
設　　立／平成16年7月3日
活動日時／毎日随時
活動場所／町内地域内
活動内容／●町内地域内の防犯パトロール
（・知らない人に会ってもあいさつする→不審者が去る・低学年児童の下校時の見守りと付き添い　等）
メッセージ／
安全で安心な街を願い、平成16年に発足しました。自分たちの町だから、地域の安全のために連帯意識を高め、町内地域が力を合わせて協力し助け合っていけば犯罪防止につながっていくと思っています。私たちのような活動が他の地域にも波及していくことを期待しています。

ワンワンパトロール



代 表 者／伊藤保志
連 絡 先／TEL45－2806
会　　員／19名
設　　立／平成16年5月1日
活動日時／毎日随時
活動場所／家近くの40分くらいの散歩範囲
活動内容／●日常の散歩でいつもと違う事柄を知らす（街灯が消えている、放置自転車・自動車、不審者を見かけた等）
●ワンワンパトロールの腕章をつける
●防犯・防災に目を光らす

千秋安全パトロール隊

代 表 者／京極芳之
連 絡 先／TEL76－1028
会　　員／32名
設　　立／平成17年11月11日
活動日時／随時（各グループごと）
活動場所／千秋町内と周辺
活動内容／●防災、防犯
（犯罪等の啓発活動を車にてパトロール、町内美化活動）
メッセージ／
自然と環境を守り、誰もが、夢・希望・感動があり、安心・安全な“住みよい我が街、我が故郷”を防災、防犯、美化の地域パトロールにお力添えをお願いします。只今会員募集中です！

安全パトロール隊の活動について

安全パトロール隊の目的は、千秋町の自然の環境の中で、「守ろう、わたしの好きな街」を目ざして、ボランティア活動をしている団体です。活動の内容は、防犯活動、防災活動、美化運動、青少年の犯罪予防、交通事故の撲滅など巡回宣伝カーと青色回転灯で隊員が、毎日、当番を決めて巡回しております。

今話題になっております青色回転灯が、この千秋でも許可され、走り始めました。

今後共、皆様のご指導により一層内容を充実をして行きたいと思いますので、格別のご協力賜りますようお願いいたします。

皆さんはどれだけ知っていますか？
障害のある方に関するマークを紹介します。

・障害のある方に関するマークには主に次のようなものがあります。

●障害のある方のための国際シンボルマーク

障害のある方が容易に利用できる建物、施設であることを明確に表すための世界共通のマークです。このマークは「すべての障害のある方を対象」としたもので、特に車椅子を利用する方に限定したものではありません。一部誤った使用がされていることがありますのでご注意ください。

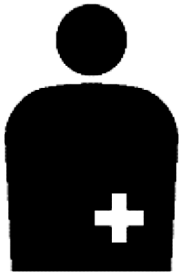
●ほじょ犬マーク

身体障害者補助犬同伴の理解を促進するためのマークです。「身体障害者補助犬法」が施行され、公共の施設や交通機関、デパートやスーパー等の民間施設でも補助犬が同伴できるようになりました。ちなみに補助犬とは、盲導犬・介助犬・聴導犬のことを言います。

●身体障害者標識（障害者マーク）

このマークは肢体不自由であることから、免許に条件を付されている方が運転する車に表示するものです。やむをえない場合を除き、このマークをつけた車に幅寄せや割り込みをおこなうことは禁止されています。尚このマークの表示については努力義務となっています。

●オストメイトマーク



人工肛門・人工膀胱を使用している方（オストメイト）のための設備があることを表しています。オストメイト対応トイレの入口・案内誘導プレートに表示されています。

●視覚障害のある方を表示する国際マーク

視覚障害を示す世界共通のシンボルマークです。このマークは手紙や雑誌あるいは歩行用など自由に使用できます。

●ハートプラスマーク

「身体内部に障害のある人」を表しています。身体内部（心臓、呼吸機能、腎臓、膀胱等）に障害のある方は外見から分かりにくいため、様々な誤解を受けることがあります。尚このマークは内部障害の方が自発的に使用するもので、法的拘束力はありません。

●聴覚障害者シンボルマーク(国内)(耳マーク)

聴覚障害のある方であることを表す国内で使用されているマークです。尚このマークは、聴覚障害の方が自発的に使用するもので、法的拘束力はありません。

●AED設置場所を意味する統一マーク

ＡＥＤ設置場所を表す統一マークです。（財団法人日本救急医療財団、心肺蘇生法委員会より）
※ＡＥＤ（自動体外式除細動器）とは、心臓の心室が小刻みに震え、全身に血液を送ることができなくなる心室細動等の致死性の不整脈の状態を、心臓に電気ショックを与えることにより、正常な状態に戻す機械です。

※2色刷のため原色とは異なります。

里親ボランティアを募集!!

一宮市社会福祉協議会では、児童養護施設の入所児童が心身ともに穏やかに成長するための一環として、児童に一般家庭での生活体験をしてもらおうと「里親ボランティア事業」を実施しています。

この事業は、1週間程度里親さんとして施設の児童を預かっていただき、児童に家庭の温かさを体験してもらうものです。

実施期間は、5月のゴールデンウィーク、お盆、年末年始の年3回です。

ボランティアとしてご協力いただける方は本部（TEL24－2940）まで

売店のご利用を!

一宮市社会福祉協議会は、一宮市立市民病院と今伊勢分院の中で売店を経営しております。

売店では、入院中に使用される日用品のほか、弁当・菓子・飲物類・本・衛生用品などを販売し、その収益金は、社会福祉協議会の貴重な財源として有効に活用させていただいております。

なお、営業日は左記のとおりです。

営業時間のご案内

営業日／売店名	平　日	土・日曜日 祝　休　日
一宮市立市民病院売店	午前8時30分～午後6時	午前8時30分～午後5時
今伊勢分院売店	午前8時30分～午後5時15分	休業します

※年末年始は休業します。

社会福祉法人　一宮市社会福祉協議会　本部

〒491-0847　一宮市大和町宮地花池字中道9番地16
TEL〈0586〉24－2940（代表）　FAX〈0586〉72－5022
ホームページ　http://www.138sk.org

尾　西　支　部

〒494-8601　一宮市東五城字備前12番地
（一宮市役所尾西庁舎東館4Ｆ）
TEL〈0586〉63－4800
FAX〈0586〉61－2970

木 曽 川 支 部

〒493-0001　一宮市木曽川町黒田字西沼51番地
（一宮市高齢者生きがいセンター内）
TEL〈0586〉87－2000
FAX〈0586〉86－0309

本紙は目の不自由な方のためにテープに録音して貸出しております。ご希望の方は一宮市社会福祉協議会まで